

# すまいるん vol.59

社会福祉法人 済生会 済生会熊本福祉センター	
就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園 児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ	済生会グループホーム事業所 済生会熊本福祉相談支援センター
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ	熊本市障がい者相談支援センターさいせい 熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約560名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

## 済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

**理念** 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

**基本方針**

- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
- ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
- ・利用者主体の福祉を実践します。

## 法務大臣表彰を受賞

2020年10月26日、済生会なでしこ園の勝本映美園長が法務大臣表彰を受賞しました。

多年にわたる人権擁護委員としての功績を認められたものです。

例年は東京の法務省で表彰式が開催されますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため熊本地方法務局で行われ、熊本県から3名の方が表彰されました。

法務大臣より祝辞が届き、多くの人権相談への対応、困難な人権侵害事件の調査救済、創意工夫にあふれた人権啓発活動などの人権擁護に尽くしてこられたことに敬意と謝意が表されました。

このような名誉ある賞を当センターの職員が受賞したことを誇りに思います。



支部熊本県済生会副島支部長と

### 済生会なでしこ園

## なでしこ オータムパーティー

10月17日、今年度初の親子行事が開催されました。テーマはハロウィン!ということで仮装した親子で賑わい、なでしこ園はまさにパーティー状態♪

子どもたちの発表をメインとしたキラキラタイムでオープニングの後、みんなで沢山練習した楽器の演奏。当日は初めてのお客さんを前に緊張もあったのですが、会場のみんで楽器を鳴らし、後半は自信に満ち溢れた表情で演奏するお友達の姿も見られましたよ。

各コーナーでは、工作やクッキング、リトミックを親子で一緒に行っています。お父さんやお母さんの手を引き、お部屋を案内したり、日頃の遊びを教えたりする姿があちらこちらで見られ、親子で楽しいひと時を過ごすことができました。



### 済生会熊本福祉センター

## おしらせ

1・2・3月の出来事(予定)

#### 済生会なでしこ園

3月31日(水) 卒園式

#### 済生会 しらふじ子ども園

1月 8日(金) どんどや  
2月 3日(水) 節分  
3月 2日(火) お別れ遠足  
3月 3日(水) ひな祭り会  
3月27日(土) 卒園式

#### 済生会かがやき

2月27日(土) 春のレクレーション

#### 済生会ウイズ

3月13日(土) 春のレクレーション

#### 済生会ほほえみ

1月16日(土) ボウリング  
3月13日(土) 春のレクレーション



## ステップアップ研修

毎年行われる世話人や作業指導員を対象とした職員研修会「ステップアップ研修会」が10月24日にほほえみ・多目的ホールで行われました。今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から参加者を61名から36名に絞って3密を考慮した3時間研修としました。

内容は、福祉センターの理念・事業計画、虐待防止、コンプライアンスについての講話。後半のグループワークでは、新型コロナウイルス感染防止についての取り組み方法などについて、事業所別に分かれて意見交換を行いました。

研修後の皆さんの感想は、「組織の話聞いて福祉センターの一員という再確認ができた。」「虐待防止については、言葉使いの難しさを感じた、悩んだら周りの職員に相談したい。」「職場内でのコミュニケーションをとりコンプライアンスを遵守していく。』との感想が多かったです。後半のグループワークでは、「意見交換により自分が気づけなかったことを聞くことができてよかった。」とのことでした。また、感染防止のためのアイデアや要望なども活発に出されました。このように個々の問題に対して共通の認識と意思を共有でき、非常に有意義な研修となりました。



## 県再犯防止モデル事業

地域生活定着支援センター

熊本県地域生活定着支援センターでは、2019年4月から2020年8月まで、県再犯防止モデル事業を実施しました。

この業務は、起訴猶予処分・執行猶予・微罪処分で刑務所に収容されない刑余者に対し、釈放後の住まいや収入の確保、医療や福祉との連携支援を行うもので、「入口支援」と呼ばれるものです。当センターは、これまでも「入口支援」の実績はありましたが、刑務所入所中の刑余者に対し、出所後の生活環境を調整する「出口支援」をメインに行っていました。

モデル事業では、合計19名の対象者を支援しました。相談の依頼元は検察庁が

一番多く10件でした。「入口支援」の特徴は、調整期間が短いことが挙げられます。「出口支援」は刑務所が対象者を選定し出所まで半年間ほど期間がありますが、「入口支援」は釈放の1週間前に検察庁から依頼があることもあり、対象者との面接も不十分なまま釈放後の生活環境を調整しなければならない難しさがありました。

現在、県では再犯防止計画の策定中であり、このモデル事業の成果も同計画に反映される予定です。今後は、モデル事業で培った経験を活かし、これまでの「出口支援」に併せ、「入口支援」にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

## クリーニング部門 医療関連サービスマーク更新

済生会ウイズ

2020年7月30日に今回で5回目となる医療関連サービスマーク認定更新による、実地調査が行われました。「医療関連サービスマーク」とは、厚労省令で定める基準の1つで済生会ウイズでは、寝具類の洗濯業務に該当します。認定を受けておくことで、病院等の寝具類の洗濯が可能になり、医療機関等が医療関連サービスを調達するときの目安にもなります。

当日は書類審査、現場審査等の確認があり、無事に2020年10月から3年間の有効期限として更新することが出来ました。質の高いサービスの1つとして今後も他の企業に負けず、皆で頑張っていきたいと思っております。



## 地域連携委員会を紹介します!!

地域連携委員会では、内田事業所がある天明・飽田地区中心に地域交流、貢献を目的に活動しております。昨年度は、済生会内田夏祭り、地区の祭りや行事への参加（パン販売など）、天明かかしコンテストにも出展しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、内田夏祭りや地域行事の中止などで昨年度のような地域活動ができない状況にあります。そのため、福祉センター内での交流行事を新たに企画し、8月に済生会熊本福祉センター3事業所（ウイズ、かがやき、ほほえみ）対抗で、「第一回所長杯争奪ペタンク大会」を開催しました。就労継続B型の利用者を対象に参加チームを募集し、6チーム（3名/チーム）での参加となりました。

今後は「With Covid-19」でも可能な地域連携の「New Style」を創造したいと考えています。



かかしコンテスト (チコちゃん)



ペタンク大会

## 秋のレクリエーション

済生会ウイズ

9月26日(土) ウイズ秋のレクリエーションを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、天草イルカマリノワールドへ「イルカウォッチング」に行ってきました。

クルーザータイプの船に乗り込み、ライフジャケットを身につけて、天草の海へ出港!! 船と並走するように泳ぐ、人なつっこいイルカの群れに出会った瞬間は、皆さん少々興奮気味でした。コロナ禍での久しぶりの外出、天気にも恵まれ、天草の海を満喫することができました。



## たのしいうんどうかい

済生会しらふじ子ども園

第17回「たのしいうんどうかい」を、園庭で行いました。

コロナ対策として、検温や手指消毒はもちろんのこと、対象クラスを以上児（3・4・5歳児）のみにしたり、各家庭の応援を両親のみに制限したり、例年とは違う運動会になりました。お父さん・お母さんの声援を受けながら、らいおん組・きりん組・ぱんだ組の子どもたちみ～んなが、かけっこでお友だちと競い合ったり、遊戯や組体操で曲に合わせて楽しく踊ったり、それぞれの年齢ごとの成長を見せてくれ、「たのしいうんどうかい」になりました。



発行所  
済生会熊本福祉センター  
発行責任者 道端 由美子  
編集 広報委員会  
熊本市南区内田町3560-1  
TEL 096-223-3330  
FAX 096-223-3429  
<https://www.sk-fukushi.jp/>